



2023年2月期
決算説明資料

2023年4月11日
株式会社イートアンドホールディングス
(証券コード: 2882)

- グループ全体で増収増益(営業利益ベース)
 - 売上高は33,033百万円(前期比107.0%)、営業利益は915百万円(前期比109.7%)。
- セグメント別では食品事業・外食事業ともに増収増益(営業利益ベース)
 - 食品事業は、冷凍食品市場の成長に伴い伸長。餃子カテゴリーだけでなく中華カテゴリーを強化し、過去最高のセグメント売上高を更新。
2022年9月には関東第三工場が竣工し、更なる生産性向上、効率化に注力。
 - 外食事業は、主力の「大阪王将」で引き続き生活立地型の出店を推進。
ラーメン業態の「太陽のトマト麺」、「よってこや」、「横濱一品香」は、リブランドによるテコ入れを実施。
- 新たな取り組みも推進
 - アールベイカーは、焼立てパンと冷凍パンを販売する新業態「YOUR OVEN」をオープン。
 - 海外事業は、メニューなどのブラッシュアップに注力。中国情勢の影響を受けつつも、中国・台湾において計4店舗を出店。
 - EC事業は、期間限定商品の投入やサイトリニューアルの実施などにより、大阪王将公式通販の更なる拡大と、外食ECを推進。

1. 2023年2月期 連結決算
 - ・バランスシートの状況(連結)
 - ・損益の状況(連結)
 - ・2024年2月期 業績予想(連結)

2. 施策と取り組み
 - ・食品事業
 - ・外食事業
 - ・新規事業
 - ・サステナビリティ

3. イートアンドグループの概要

1. 2023年2月期 連結決算

バランスシートの状況(連結)

(単位:百万円)	2022年 2月末現在	2023年 2月末現在	備考
資産の部	20,514	23,133	
流動資産	9,044	9,751	売掛金、商品及び製品の増加
固定資産	11,470	13,381	新工場(関東第三工場)建設 外食事業新規出店による増加
負債の部	12,709	14,994	
流動負債	9,232	10,348	短期借入金、1年内返済予定の 長期借入金の増加
固定負債	3,477	4,645	長期借入金の増加
純資産の部	7,805	8,139	

損益の状況(連結)

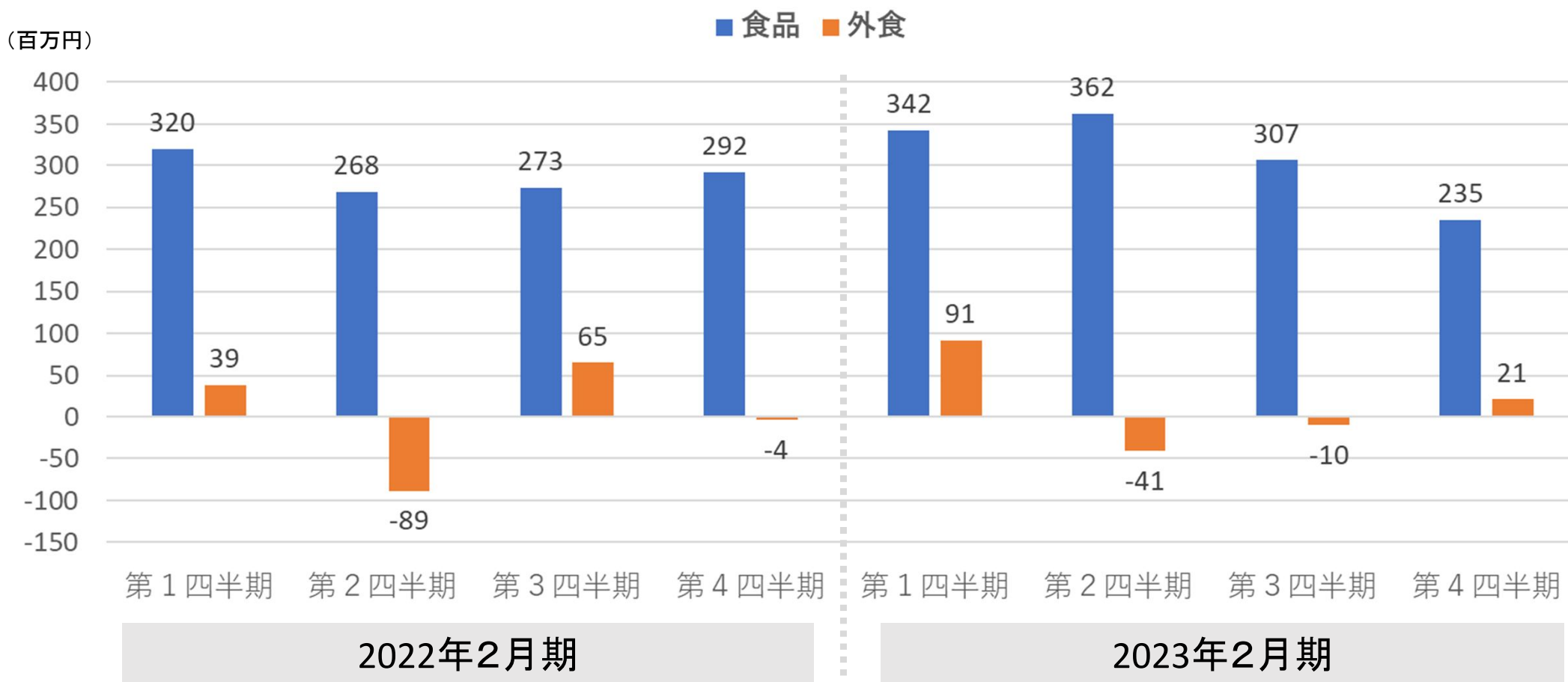
(単位:百万円)	2022年2月期	2023年2月期	前期比
売上高	30,881	33,033	107.0%
食品(構成比)	18,789(60.8%)	20,053(60.7%)	106.7%
外食(構成比)	12,091(39.2%)	12,979(39.3%)	107.3%
売上総利益	12,583	13,375	106.3%
販売費及び一般管理費	11,748	12,460	106.1%
営業利益	834	915	109.7%
営業利益率	2.7%	2.8%	+0.1pt
経常利益	1,476	1,053	71.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	773	385	49.8%

※営業外収益として計上していた新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金の収入は126百万円(前期比525百万円減少)

損益の状況(セグメント別)

(単位:百万円)		2022年2月期	2023年2月期	前期比
食品	売上高	18,789	20,053	106.7%
	セグメント利益	1,153	1,246	108.0%
	利益率	6.1%	6.2%	+0.1pt
外食	売上高	12,091	12,979	107.3%
	セグメント利益	11	61	531.7%
	利益率	0.1%	0.5%	+0.4pt
調整額	セグメント利益	△330	△392	—

セグメント別 営業利益推移



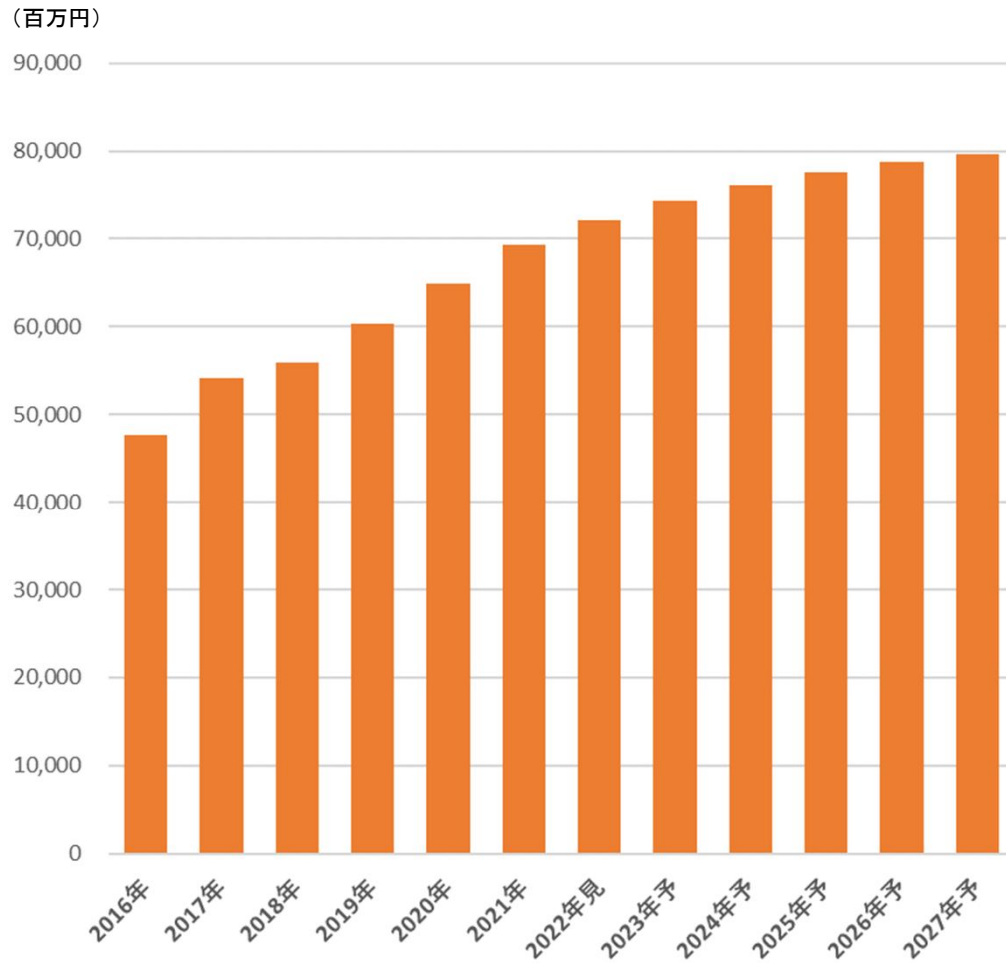
2024年2月期 業績予想(連結)

(単位:百万円)	第2四半期予想 (累計)	前期比	通期予想	前期比
売上高	17,000	105.6%	36,000	109.0%
営業利益	570	101.0%	1,100	120.2%
経常利益	570	81.7%	1,100	104.5%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	250	73.9%	450	116.8%

2. 施策と取り組み

冷凍餃子の市場規模

冷凍餃子市場は年々規模を拡大。

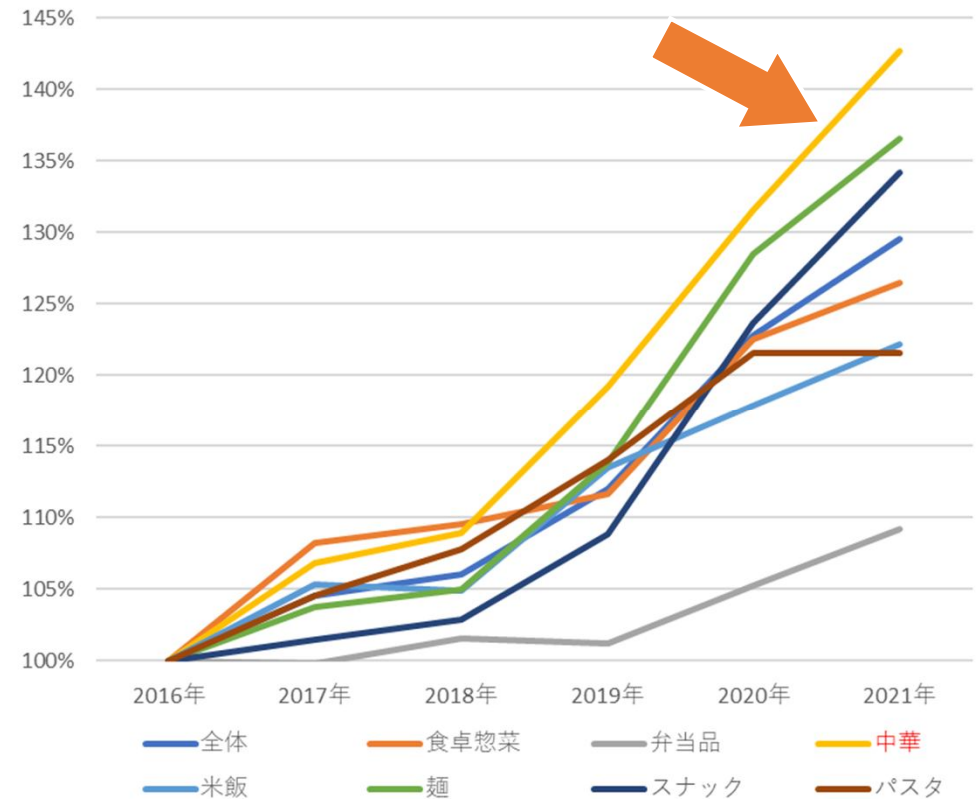


※餃子・水餃子の合計。販売額ベース

※富士経済「2023年 食品マーケティング便覧」より

冷凍調理市場のカテゴリー別伸長率

冷凍調理市場を「中華」が牽引。



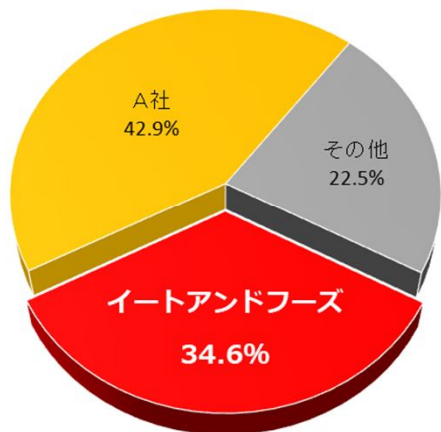
※各年4月～翌3月の100人あたり平均購入規模。2016年実績を100%として算出

※インテージSCIより

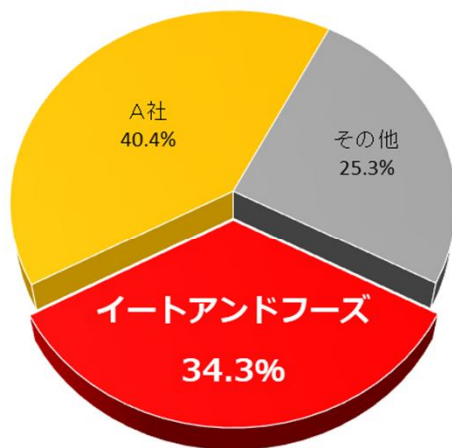
高シェアと市場拡大を背景に冷凍餃子の売上高は伸長（前期比107.6%）

冷凍餃子（焼き餃子・水餃子）

2021年3月～2022年2月

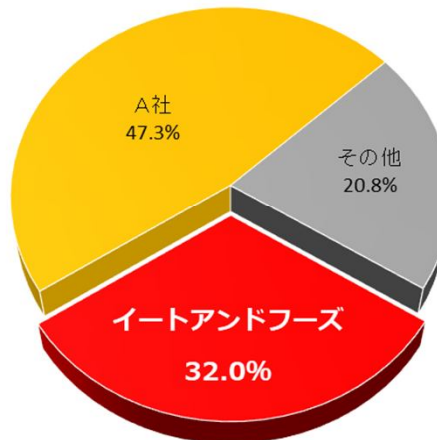


2022年3月～2023年2月

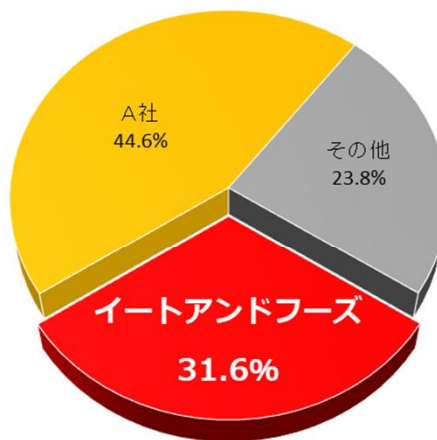


冷凍焼き餃子

2021年3月～2022年2月

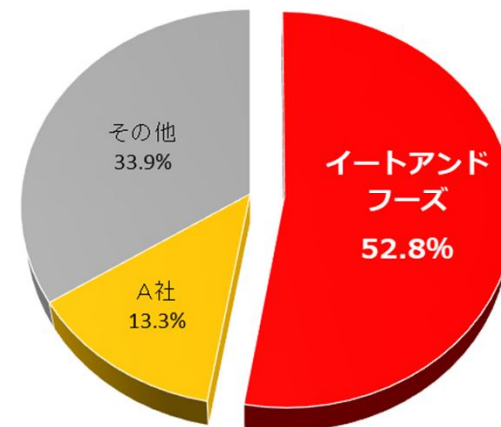


2022年3月～2023年2月

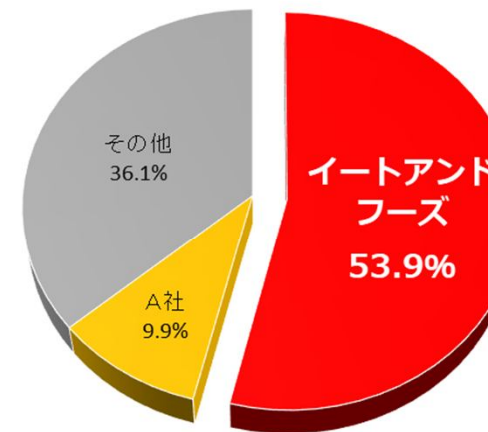


冷凍水餃子

2021年3月～2022年2月



2022年3月～2023年2月

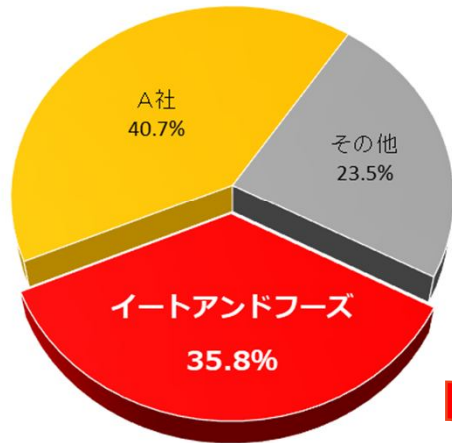


※インテージSCIより
※四捨五入の関係で、合計は100%とならない場合がある

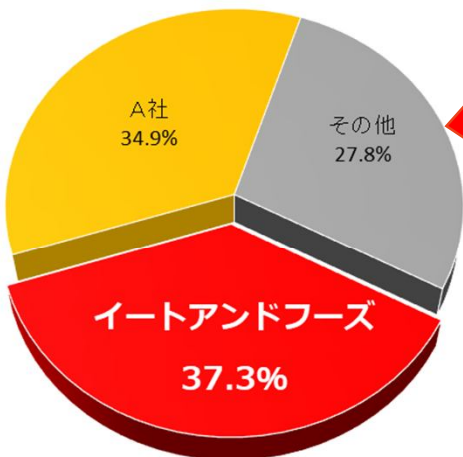
第4四半期単体では、冷凍餃子(焼き餃子・水餃子)のシェアは首位に

冷凍餃子(焼き餃子・水餃子)

2021年12月～2022年2月

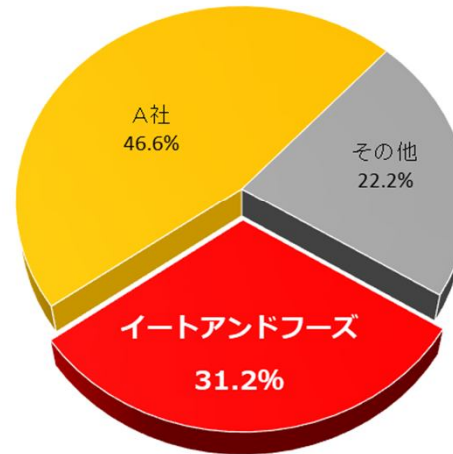


2022年12月～2023年2月

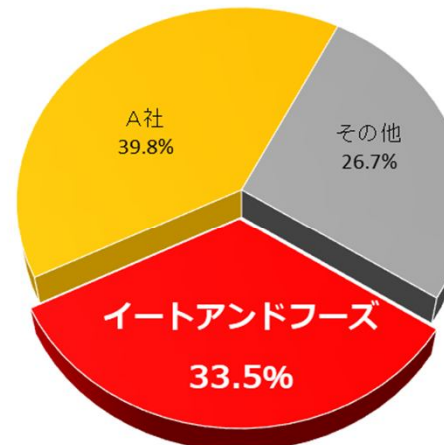


冷凍焼き餃子

2021年12月～2022年2月

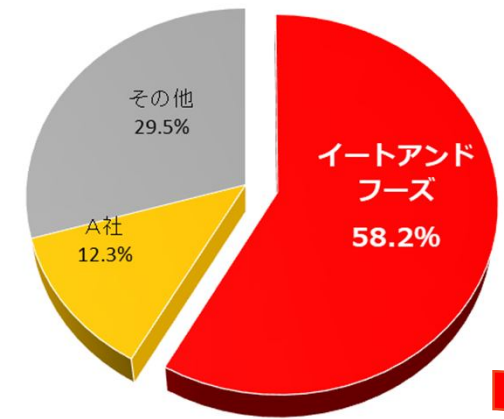


2022年12月～2023年2月

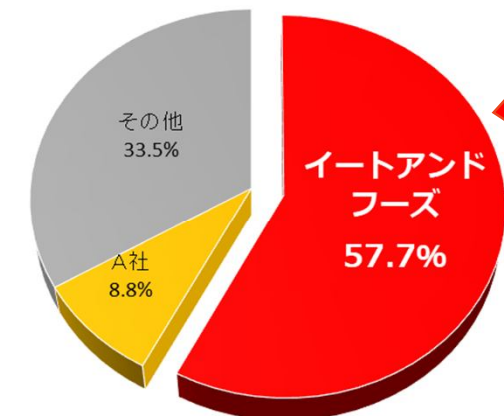


冷凍水餃子

2021年12月～2022年2月



2022年12月～2023年2月



※インテージSCIより
※四捨五入の関係で、合計は100%とならない場合がある

主力商品の羽根つき餃子を中心に、中華カテゴリーを強化

2022年春夏新商品

大阪王将の味を再現したラーメンなどが新登場。2022年3月より販売。



2022年秋冬新商品

大阪グルメを再現した“なにわシリーズ”の商品を、2022年8月より販売。



焼き餃子

新登場



水餃子



麺

新登場



点心

新登場



米飯

新登場



調味料・加工食品



主力商品の需要増加に対応すべく生産設備を増強



- 新技術を積極的に導入し、高品質と安全性の追求、および低コスト運営の両立を目指す。
- 関東工場全体の生産能力は約4,400t／月へ増加する見込み(関東第三工場フル稼働時)。



自動回避



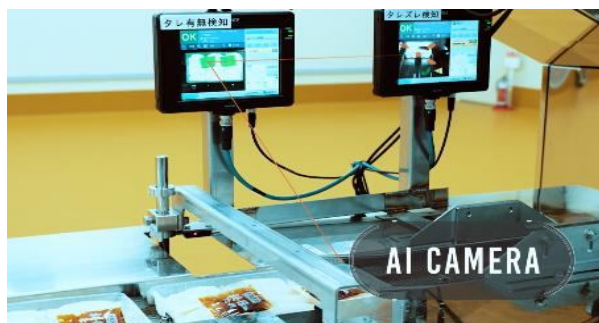
設備の一部が異常停止した際、製品をライン上から回避し、一時的に蓄積する「アキュム装置」を導入。ライン全体の停止を防ぎ、トラブル時の製品ロスを削減。

自動運搬



無人搬送車（AGV）の導入により、原料の運搬作業を自動化。運搬距離は、1日あたり延べ5km。

検査の自動化



AIカメラによる自動判別とロボットによる排出によって、検査を自動化。「機械の眼」により異物混入や個数不足などを防止。

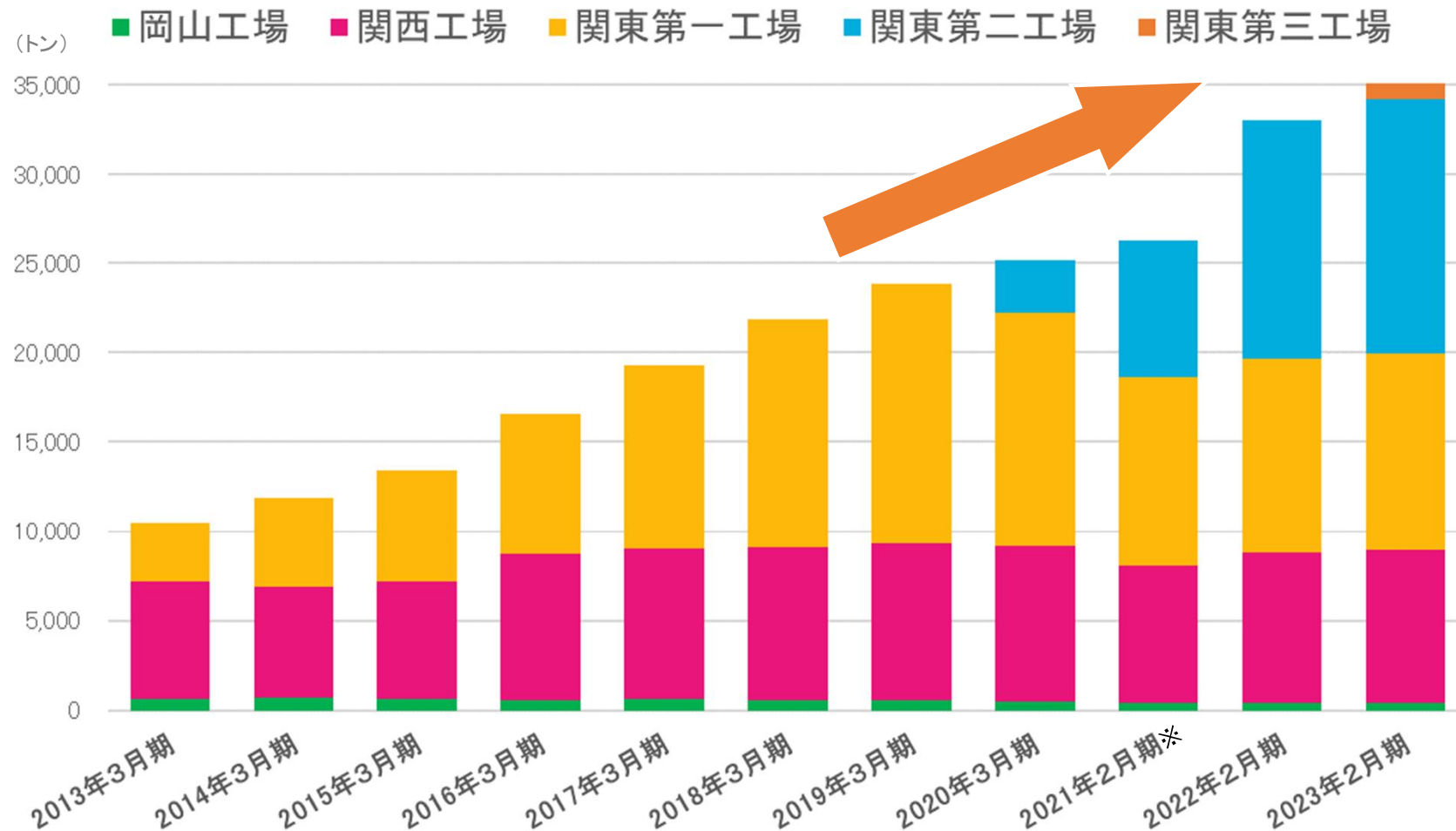
IoT



各機器をオンラインでつなぐことで、タイムリーに製造状況を管理。生産速度、歩留を自動調整し、設備の故障も事前に察知。

生産量は35,089トン(前期比106.3%)。10年で3倍以上に増加

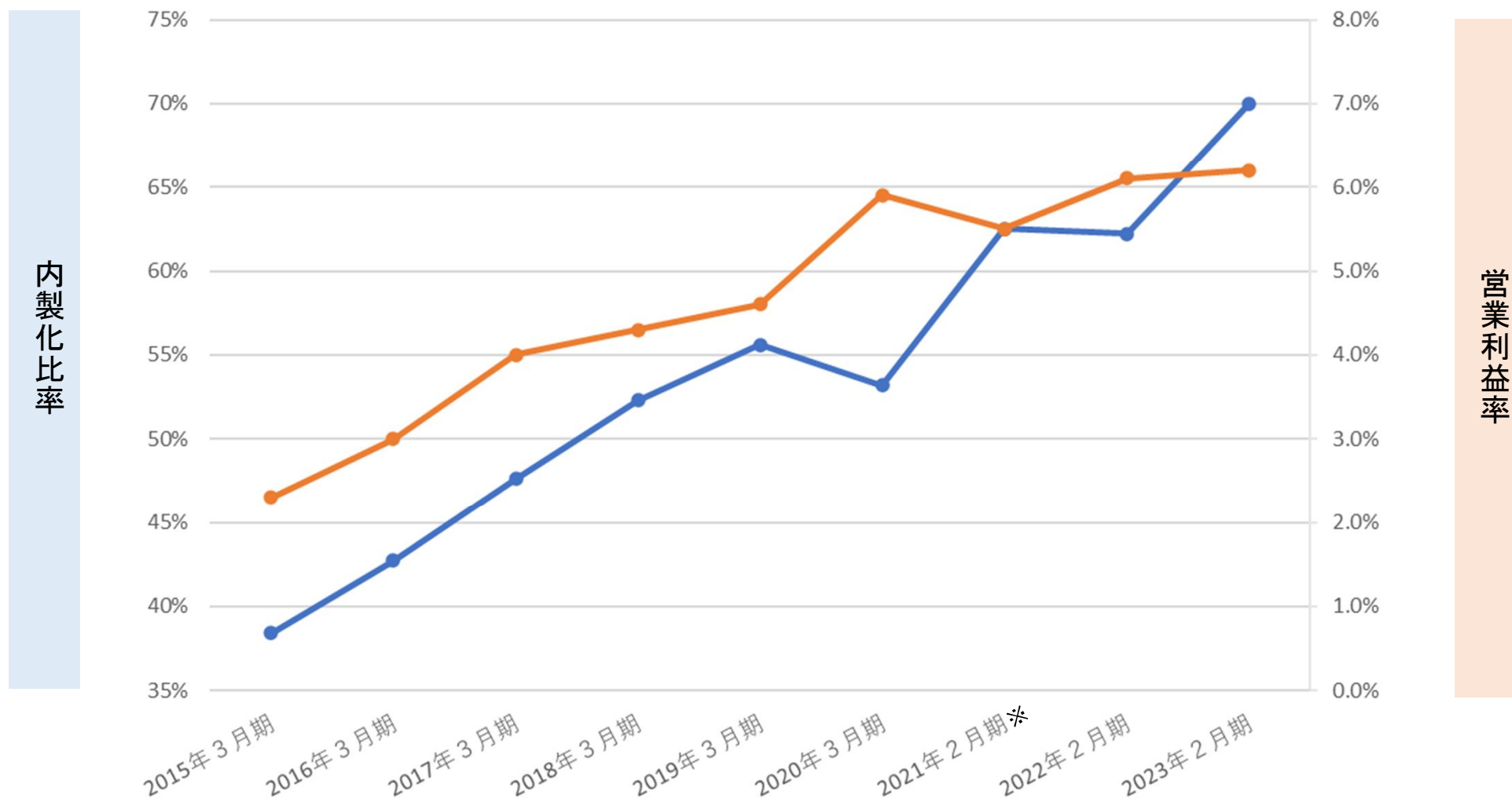
工場生産量推移



※2021年2月期は決算月変更に伴い11カ月実績

食品セグメントの内製化比率と営業利益率の推移

● 内製化比率（左軸） ● 食品セグメント営業利益率（右軸）



※2021年2月期は決算月変更に伴い11カ月実績

2022年6月、世界トップクラスの食品安全システム規格「FSSC22000」を 関東第一・第二工場と関西工場において取得

審査登録証

株式会社イトアンドフーズ
関東工場

関東第一工場グループ：群馬県邑楽郡板倉町泉野2-40-5
関東第二工場グループ：群馬県邑楽郡板倉町泉野2-41-17

適用規格：Food Safety System Certification 22000
FSSC 22000

審査登録範囲：
餃子の具・皮、生麺の製造（未加熱、冷蔵）
冷凍食品（餃子・水餃子・焼売）の製造（加熱調理、急速冷凍）

フードチェーン（サブ）カテゴリ：
CII（腐敗しやすい植物性製品の加工）、
CIII（腐敗しやすい動物性及び植物性製品の加工（混合製品））

当該組織の食品安全マネジメントシステムを審査した結果、上記記載の範囲においてFSSC 22000 Version 5.1の要求事項（ISO22000:2018,ISO/TS22002-1:2009,FSSC 22000 Ver.5.1 追加要求事項）に適合しており、当センターに登録されていることを証します。

この審査には、（東京ヘッドオフィス：東京都品川区東品川4-12-8）が管理する次の中央FSMSプロセスが含まれます：
製品の製造支援（原料調達、購買管理）

登録番号：JMAQA-FC506

登録日：2022年6月1日
登録有効期限：2025年5月31日
登録決定日：2022年6月1日
発行日：2022年6月1日

登録事業所番号：JMAQA-FC506-1

上級経営管理者 **中村正己**

審査登録証

株式会社イトアンドフーズ
関西工場

大阪府枚方市春日北町1-10-10

適用規格：Food Safety System Certification 22000
FSSC 22000

審査登録範囲：
餃子の具・皮、生麺の製造（未加熱、冷蔵）
冷凍食品（餃子・小籠包・いら饅頭）の製造（加熱調理、急速冷凍）

フードチェーン（サブ）カテゴリ：
CII（腐敗しやすい植物性製品の加工）、CIII（腐敗しやすい動物性及び植物性製品の加工（混合製品））

当該組織の食品安全マネジメントシステムを審査した結果、上記記載の範囲においてFSSC 22000 Version 5.1の要求事項（ISO22000:2018,ISO/TS22002-1:2009,FSSC 22000 Ver.5.1 追加要求事項）に適合しており、当センターに登録されていることを証します。

この審査には、（東京ヘッドオフィス：東京都品川区東品川4-12-8）が管理する次の中央FSMSプロセスが含まれます：
製品の製造支援（原料調達、購買管理）

登録番号：JMAQA-FC506

登録日：2022年6月1日
登録有効期限：2025年5月31日
登録決定日：2022年6月1日
発行日：2022年6月1日

登録事業所番号：JMAQA-FC506-2

上級経営管理者 **中村正己**

Validity of this certificate can be verified in the FSSC 22000 database of certified organizations available on www.fssc22000.com.

Validity of this certificate can be verified in the FSSC 22000 database of certified organizations available on www.fssc22000.com.

(単位:店舗)		2022年2月末			2023年2月期(累計)						2023年2月末		
		店舗数			出店数			退店数			店舗数		
		直営	加盟	全店	直営	加盟	全店	直営	加盟	全店	直営	加盟	全店
国内	大阪王将	48	313	361	8	10	18	10	19	29	46	304	350
	ラーメン	11	18	29	2	0	2	2	6	8	11	12	23
	ベーカリー・カフェ	21	10	31	1	2	3	1	1	2	21	11	32
	一品香	8	2	10	1	0	1	1	0	1	8	2	10
	その他業態	12	1	13	7	0	7	1	0	1	18	1	19
海外		7	21	28	2	2	4	0	3	3	9	20	29
グループ計		107	365	472	21	14	35	15	29	44	113	350	463

※出店・退店数には、直営店から加盟店に運営形態を変更した4店舗を、それぞれカウントしております

大阪王将

地域密着型店舗「街中華モデル」を展開。



※写真は豪徳寺店(東京都・2023年2月28日オープン)

太陽のトマト麺

チーズに特化した新スタイル店舗を出店。



※写真は「ミーツ国分寺店」(東京都・2022年10月29日オープン)

横濱一品香

「横浜中華」をコンセプトにリブランド。



※写真は青葉台店(神奈川県・2022年4月21日オープン)

よってこや

「屋台原風景」をコンセプトにリブランド。

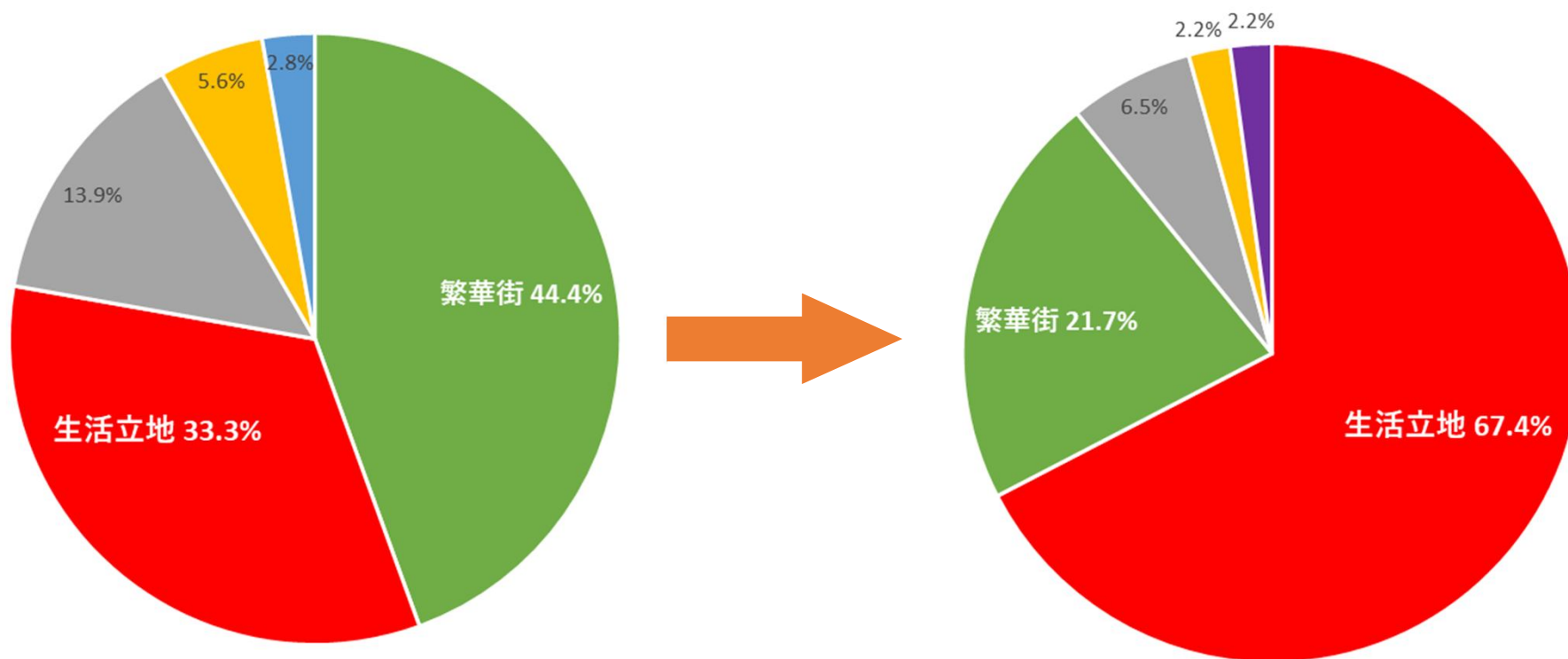


※写真は「センター北あいたい店」(神奈川県・2022年11月25日オープン)

生活立地へのシフトを積極的に進めた結果、生活立地店舗の割合は新型コロナウイルス感染症拡大前と比べ65%以上に倍増

立地形態別内訳の変化（直営店）

■ 繁華街 ■ 生活立地 ■ ロードサイド ■ 商業施設 ■ 宅配 ■ フードコート



<2020年3月末現在>

<2023年2月末現在>

期間限定メニュー開発

「未来に食べつないでいきたい」という想いを込めて、ご当地メニューをアレンジした「国宝級お宝めし」シリーズを販売。



キャンペーン実施

人気メニュー「ふわとろ天津飯」の認知拡大を狙い、「天津飯の日」を記念日登録。あわせて実施した増量券プレゼントのキャンペーンが、メディアで話題に。ご注文に応じて餃子無料券をプレゼントする「大感謝祭」なども開催。



来店頻度向上を目的とした各種のキャンペーンなどにより、売上は回復基調で推移



毎年10月は年に一度の
トマト祭

太陽のラーメン
無料券
プレゼント

3日間限定 10月9・10・11日

ラーメン1杯お召上がりにつき、お一人様1枚
「太陽のラーメン無料券」を進呈いたします。

※テイクアウトラーメン、冷凍ラーメン対象外

使用期限 2022年11月30日



年に1度の全店開催!!

太陽のトマト麺 創業17周年記念祭

太陽のラーメン
太陽のチーズラーメン

12/16・17 2日間限定 ¥550 (税込)

※テイクアウトデリバリー対象外

今年も感謝の気持ちをこめて



こんなご時世だからこそ

横濱 一品香 CHINESE KITCHEN

半額還元祭

期間限定 12月19日(月)～25日(日)

お会計1,000円ごとに
500円の金券プレゼント!!

金券有効期限 2023/1/1～2/28

◆実施店舗◆
相模ジョイナス店・沼南台バス店・小田急マルシェ町田店・若葉台店・保土ヶ谷店・ららぽーと横浜店・上大岡ミオカ店

2022年5月、食品ロスが出ない仕組みとともに、焼立てパンと冷凍パンを販売する「YOUR OVEN」がオープン。サステナブルな新業態として話題に



札幌みそぎょうざ

冷凍生餃子の無人販売店「札幌みそぎょうざ」は14店舗に拡大(2023年2月末現在。SAPPORO餃子製造所の併設店を含む)。



くまちゃん温泉

話題の一人鍋専門店「くまちゃん温泉」は2022年11月、北海道に札幌本館をオープン。2023年より海外展開も開始。



上海

2022年12月、3号店の「世紀大道（シージーダーダオ）店」をオープン。浦東エリアに初進出し、新規顧客層の開拓とブランド認知の拡大を狙う。



台湾

「大阪王将」7店舗をはじめ、ラーメン業態の「太陽のトマト麺」6店舗、「よってこや」4店舗の計17店舗を展開中（2023年2月末現在）。



大阪王将公式通販の更なる拡大と、外食ECの取り組みを推進

大阪王将公式通販



くまちゃん温泉



ラーメンじゃーにー



太陽のトマト麺



CO2削減

2022年12月、関東工場へ太陽光発電設備を設置し、2023年1月より稼働を開始。年間想定発電量は関東第二・第三工場で1年間に使用される電力の約10%に相当し、約280tのCO2排出削減に。



地域との共生

2022年12月、「感動子ども食堂」(運営：感動キューブ株式会社)と協働し、地域の子どもたちを対象とした子ども食堂イベント“ぎょうざパーティー”を開催。



3. イートアンドグループの概要

Eat& Holdings

Eat & Foods

冷凍食品の
製造販売

BLOCK

冷凍食品の
通信販売



Eat& INTERNATIONAL

海外における
直営店・FC本部運営

 R Baker

カフェ・ベーカリー業態の
直営店・FC本部運営
食材の卸・販売

 大阪王将

中華・ラーメン業態の
直営店・FC本部運営
食材の卸・販売



中華・ラーメン業態の
直営店・FC本部運営

日常のあらゆる食シーンに、新しい食文化を創造する
「食のライフプランニングカンパニー」

食を通じて、
持続可能な社会の実現に貢献し、
+ &の発想で、
ワクワクする未来を生み出し続けます。

サステナビリティ基本方針

Eat+&の幸せを次の世代へ。

「地球環境」「地域社会」「人とのつながり」を大切にし、
全てのステークホルダーの幸福につながる
持続可能な社会の実現を目指します。

7つの重点取組み

Environment 環境

食品ロス削減
CO2削減

Social 社会

地域との共生
ダイバーシティ
健康経営

Governance ガバナンス

理念の浸透
グループ経営

- 社 名 ➤ 株式会社 イートアンドホールディングス
- 英 文 社 名 ➤ EAT&HOLDINGS Co.,Ltd
- 東京ヘッドオフィス ➤ 東京都品川区東品川4-12-8 品川シーサイドイーストタワー15階
- 大 阪 オ フ ィ ス ➤ 大阪市淀川区宮原3-3-34 新大阪DOIビル 3F
- 設 立 年 月 ➤ 1977年8月
- 業 種 ➤ 飲食店経営および食品製造・販売
- 代 表 者 ➤ 代表取締役会長 CEO 文野 直樹
代表取締役社長 COO 仲田 浩康
- 資 本 金 ➤ 20億29百万円(2023年2月末現在)
- 発行済株式総数 ➤ 10,169,506株(2023年2月末現在)
- 決 算 期 ➤ 2月末日
- 店 舗 数 ➤ 463店舗(2023年2月末現在)
- 従 業 員 数 ➤ 1,498名(2023年2月末現在)

- 本書には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により、実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。
- 別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。
- 本書は、いかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込み又は買付けの申込みの勧誘（以下「勧誘行為」という。）を構成するものでも、勧誘行為を行うためのものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません。投資に関する決定は、閲覧者ご自身の判断と責任で行われますようお願いいたします。

株式会社イトアンドホールディングス
経営管理本部
経営戦略部